「2008年版観光白書」～観光の現状～

訪日外客は過去最高835万人に

国内観光旅行は年間2・47泊に減少

政府はこのほど、2008年版観光白書を公表した。すでに発表済みの統計などを含めて観光の現状を指し示す各種データを掲載している。訪日外客数、国民1人当たりの国内観光旅行の年間泊数など、観光立国推進基本計画に掲げた数値目標に関連するデータを紹介する。

07年の訪日外客数は、前年比13・8%増の835万人に達した。2010年に1千万人とする基本計画の目標達成がみえてきた。国・地域別では、韓国が22・8%増の265万人で9年連続の首位。以下、台湾が5・8%増の139万人、中国が16・1%増の94万人、アメリカが0・1%減の82万人、香港が22・6%増の43万人の順。

日本人の国内観光旅行は、2010年度に1人当たり年間4泊にするのが目標。しかし、07年度は前年度比9・2%減の2・47泊（暫定値）で2年連続のダウン、3泊にも達していない状況だ。年間回数も1・54（同）に下降した。旅行1回当たりの宿泊数は、1・6泊ということになる。

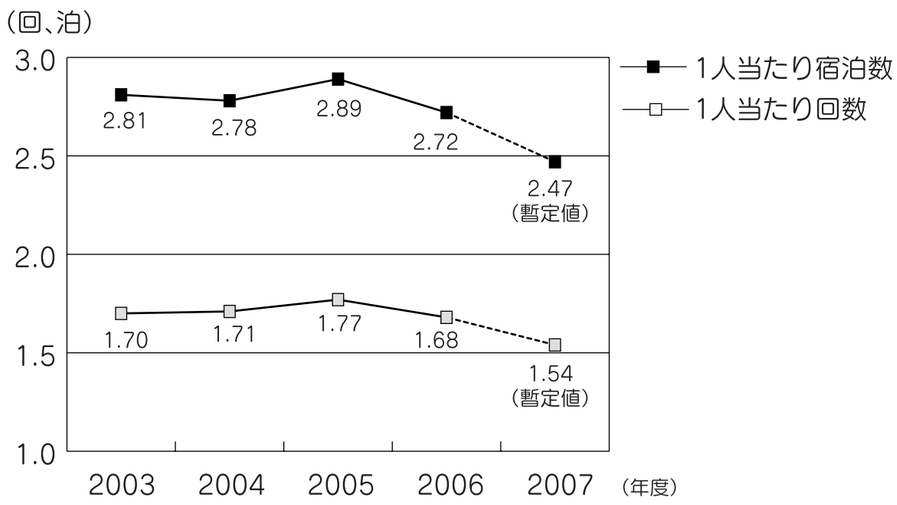
国際会議の開催件数の目標は、2011年までに05年対比で5割以上の増加。アジアで首位の開催国を目指しているが、最新データの06年実績は、前年比2件減の166件でアジア4位にとどまっている。

日本人の海外旅行者数は、2010年に2千万人が目標だが、07年は前年比1・4%減の1729万人。

国内の旅行消費額は、2010年度に30兆円とすることが目標。最新の06年度統計は、前年度比1・4%減の23兆5千億円だった。内訳は、日本人の国内宿泊旅行が4・2%減の15兆7千億円、日帰り旅行は2・0%増の4兆7千億円、訪日外客の消費額が20・2%増の1兆4千億円など。

国内旅行は泊数、回数ともに減少

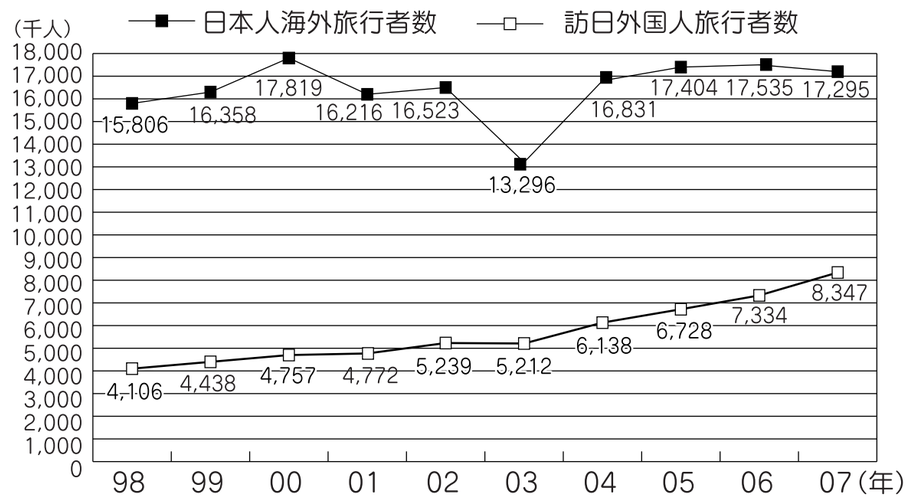
国内宿泊観光旅行の年間回数及び宿泊数の推移



(注) 国土交通省「旅行・観光消費動向調査」による

07年訪日外客は13.8%の増加

旅行者数の推移

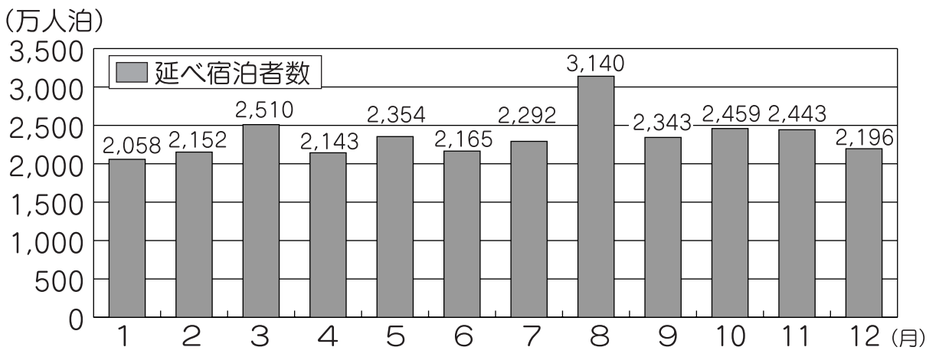


(注)法務省及び国際観光振興機構(JNTO)資料に基づき国土交通省総合政策局作成

宿泊客の14人に１人は外国人

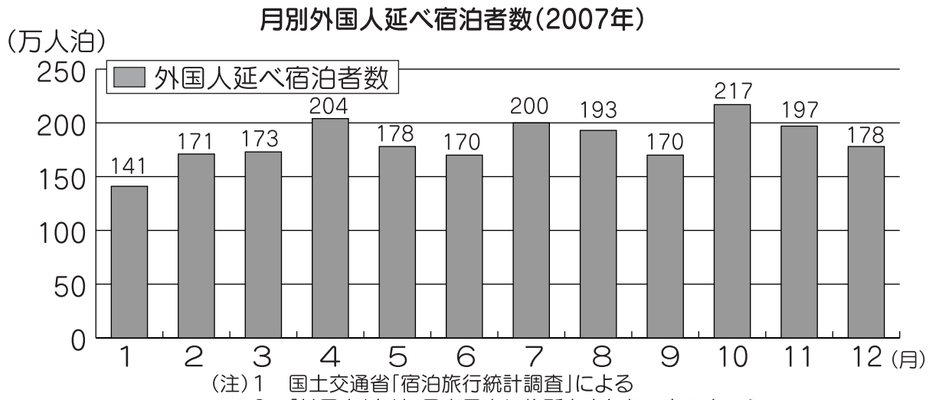
国土交通省が昨年から開始した宿泊旅行統計調査によると、2007年（１～12月）の旅館・ホテルなどへの延べ宿泊者数は３億445万人泊。このうち外国人は2191万人泊で、全体の7.2%。宿泊客の14人に１人が外国人という状況になった。

国民の月別延べ宿泊者数(2007年)



(注)国土交通省「宿泊旅行統計調査」による

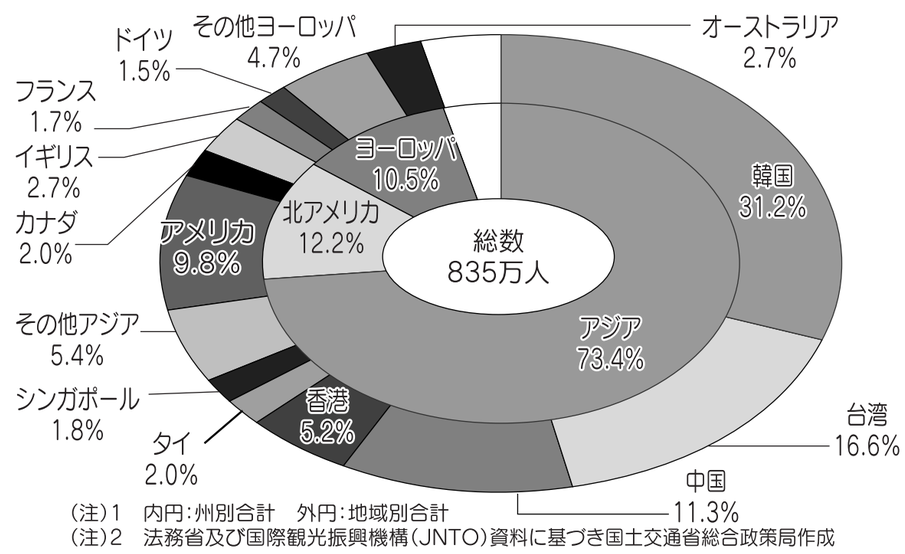
月別外国人延べ宿泊者数(2007年)



(注)１　国土交通省「宿泊旅行統計調査」による
　　２　「外国人」とは、日本国内に住所を有しないものをいう

アジアからの旅行者が全体の73%

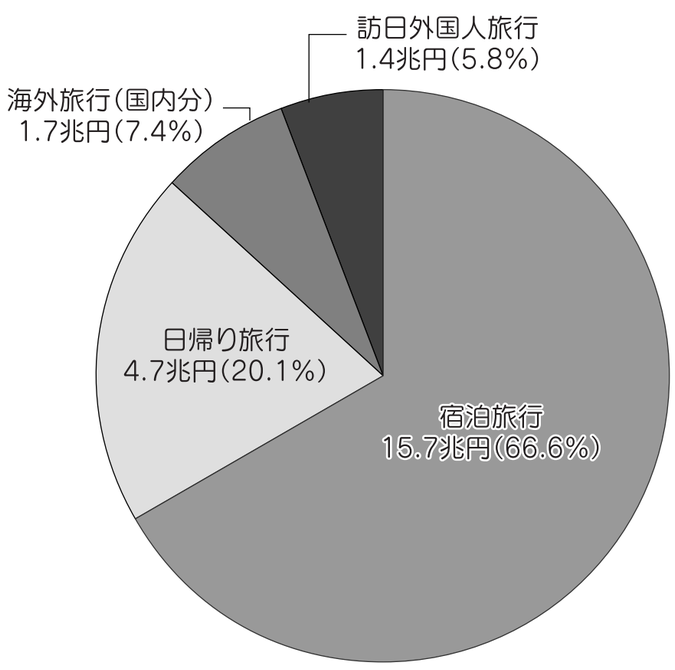
国・地域別訪日外国人旅行者の割合(2007)



(注)１　内円:州別合計　外円:地域別合計
(注)２　法務省及び国際観光振興機構(JNTO)資料に基づき国土交通省総合政策局作成

国内の旅行消費額は23.5兆円

国内の旅行消費額の内訳(2006年度)

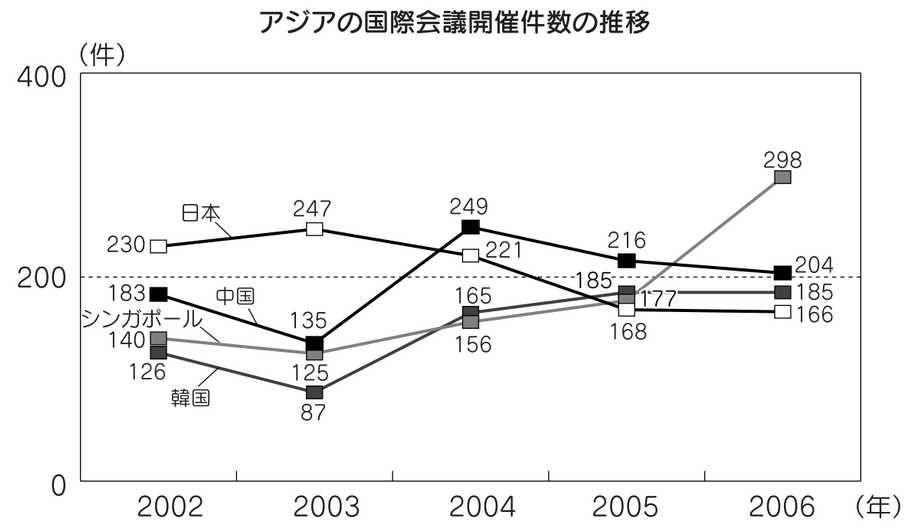


(注)国土交通省「旅行・観光産業の経済効果に関する調査研究Ⅶ」による

国際会議の開催件数はアジア４位

国際会議の開催件数は、国際団体連合(UIA)が国際的な基準でまとめた件数を基にしている。集計基準は、参加者数300人以上、参加国数５カ国以上、開催期間３日以上――など。アジアの競合国ではシンガポール、韓国が伸びている。

アジアの国際会議開催件数の推移



(注)国際団体連合(UIA)の統計に基づき国際観光振興機構(JNTO)作成

調査データ